



第1217号  
2011年7月24日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇8月の代禱・信施奉献先

▽日本聖公会青年活動のため  
(8月第1主日) ▽在韓被爆者救  
援のため▽薬物依存リハビリ施設  
の働きのため▽平和を実現するキ  
リスト者ネットの働きのため▽聖  
公会平和ネットワークのため

《奉献先から》

いのちが大事にされる社会を

平和を実現するキリスト者ネ  
ットは1999年、戦争への道作  
りが急速に進むことを危惧しかつ  
ての戦争の過ちを繰り返してはな  
らないと、超教派のキリスト教  
会・団体によって結成されまし  
た。年10回のニュースレター発  
行を中心に情報発信、勉強会、キ  
ヤロリングなどの活動をしていま  
す。教会や個人会員の平和の働き  
を知らせ、つなぎ、励ましあう役

目をしたいと願っています。

戦争がないだけが平和ではあ  
りません。イエス・キリストが  
愛しとおされた、小さな「いの  
ち」が大事にされる社会を目指  
し、思想・信教、教育、社会の  
弱者の視点などを大事にしてい  
ます。  
(事務局代表 鈴木伶子)

◆教役者レクイエム

8月17日(水) 10時半

説教 山野繁子司祭  
主教座聖堂

▽司祭関翊▽主教須貝止▽主教  
今井正道▽司祭佐久間吉太郎▽  
司祭関屋正彦▽司祭白井三繁

▽聖歌集を歌う会 明日締切。

▽8月聖路加国際病院礼拝堂

《夕の祈り》 3日(水) 18時半、

オルガン演奏に続き19時。演奏 Ⅱ

渋澤久美。無料(会場献金)。

▽東北地方太平洋沖地震を覚  
えての聖餐式 8月21日(日)

18時、聖アンデレ主教座聖堂。

▽横浜教区浦安伝道所新住所

東日本大震災の液状化被災に

より移転。〒279-0011浦

安市美浜3-25-13。電話・ファ

クスは変わらず。

◇支援対策本部ニュースNo 4

本日各教会・礼拝堂で配布。同

本部の電話・ファクスが03

(3438) 3633に変更。

▽正義と平和協議会便り&平和

メッセージ 8月15日付発行。

▽小誌「植田仁太郎主教退職

記念特別号」 7月31日発行。

【教区事務所夏期休業】 8月

15日(月)～19日(金)。

【本紙休刊】 7月31日号～8月

28日号(9月4日号より再刊)。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

教会にずいぶん大きなポスターが送られ

てきたことと思います。日本聖公会では20

12年に宣教協議会を開催しようとの決議が

総会でなされ、昨年はプレ宣教協議会が開催

されました。教区においても管区においても

2012年に向けて実行委員会が

立てられ準備を進めています。3

月11日に起こった震災によって、

協議会開催をすべきかという議論

もありましたが、管区では深刻な

事態に直面し、今こそ教会は信仰

の姿勢を問われているのではない

かという意見で一致しました。震

災から4カ月余り、私たちは教会

の宣教の姿勢を考え、見直すことが求められ

ていると思います。余り大上段に振りかぶら

ずに議論を深めたいと思います。各教会には

すでにプレ宣教協議会の報告書が送られてい

ますが、膨大なものでありますので、教区の

みんなで教会の宝物を  
探してみよう

《み手のなかで》

準備委員会では抜粋を教区の皆様と分かち合  
いたいと思ひ、準備を進めています。教区の  
準備会では、できるだけ一方通行にならない  
ように努力しようとしています。そこで手始  
めに教区の各教会にどんな宝物があるのか、  
道前向きに考えてみようということにな  
りました。直面している問題や課題は  
たくさんあります。しかしあれもでき  
ない、これもできないと考えていたら  
沈んでいくばかりです。みんなでこん  
なこともやってみているよ、こんなこ  
とを大切にしているよということ、小  
さなことで構いません。それを分かち  
合うことから始めてみましょう。それ  
が大きなポスターの意味です。この夏、各教  
会でこんなに素敵な教区だったというこ  
とを少しでも分かち合えたらと思っていま  
す。大いに話題にし活用していきましょ

(東京教区主教)

## 常置委員会報告(7月14日)

\* 堅信前の陪餐について教礼組の答申を受け、9月主教会でセッションを行う。日韓青年交流プログラムを実施、など主教会から臨時主教会報告。

\* 11月墓地礼拝の準備、聖救主教会牧師館購入手続状況、6月財務諸表、幼稚園10年度決算確認など、主事等の報告を了承。

\* 植田主教感謝会収支報告、残額は震災募金へ。

\* 第117(定期) 教区会日程(11月23日9時〜17時) および書記2名任命を了承。

\* その他

▽英国エジンバラ聖メアリー大聖堂聖歌隊 31日10時半、聖アンデレ教会主日礼拝で奉唱。

▽第35回敗戦記念日祈祷集会

主催と会場 池袋聖公会。教

区正義と平和協議会共催。8月15日(月) 18時、夕の礼拝に続き記念講演「悔い改めからの出発―日本聖公会の戦争責任に関する宣言1996―」講師 井田

泉司祭(京都聖二教会牧師)。恒例のすいとんで懇親会。会場 103(3986) 4709。

▽信徒黙想会 聖職養成委員

会が信徒対象の新たな研修プログラムを企画。日頃礼拝奉仕に携わる人々とともにする学び。

第1回「礼拝と祈祷書」は9月23日(金・休)〜24日(土)、ナザレ修道院。講師 竹内謙太郎司祭。定員20名。詳細は各教会・礼拝堂宛送付の案内参照。

▽種をまこう! NCC教育部主催全国教会教育フェスティ

バル。9月23日(金・休)〜24

日(土)。長野県松本市諸教会で。申込期限 8月10日。詳細は各教会等へ送付の案内参照。

◇教区フェスティバル連絡会 9月3日(土)14時、聖アンデレホール。

▽神愛教会バザー 9月4日(日) 11時〜13時、同教会。

▽8月ランタイム・オルガンコンサート \* 聖パウロ 12日

(金)、佐藤礼子 \* 神田キリスト 17日(水)、八代紀子 各々12時20分から30分程度、入場無料。\* 聖テモテは休演。

【東日本大震災関連】

チャリティイベント

▽真光教会 IV 8月7日(日)14時、同教会。演奏 上綱敦子ほか。千円。照会 1090(2737)5390・松田。

〈掲載記事転用の場合は事前連絡のこと〉

## 【クローズアップ】91

## 教役者宿泊研修会報告

6月下旬に2泊3日の日程で毎年教役者宿泊研修会が教区聖職養成委員会の主催で行われています。今年も6月27日〜29日まで、箱根スコレプラザに33人が集まりました。宿泊研修会は日頃接触することが少ない教役者にとって貴重な交流の時でもあります。2月11日にアンデレ大畑喜道主教を教区主教にいただき、今後15年の宣教体制を整えることを視野に入れて、「宣教について考える」というテーマが選ばれたのだと思います。

講師は現在日本聖公会をリードする指導的聖職者たちが揃いました。第1セッションでは、

北海道教区常置委員長・大町信也司祭が、北海道教区の震災被災地支援の働きに加えて「牧会の現実から新たな宣教を考える―変容する日本社会の中で―」

を、第2セッションでは、中部教区松本正俊司祭が、「ベッドサイドで寄り添うということ―病院チャプレンとしての体験から―」を、第3セッションでは、大畑喜道主教が「和而不同―主の晩餐を通して―」を

発題され、1日目の日程を終えました。2日目の第4セッションでは、宮崎光司祭が「礼拝という宣教を自覚する」、第5セッションでは、横浜教区入江修司祭が「私たちが宣教に向かわせるもの」を発題され、午前の部を終えました。午後の第6セ

ッションでは、産業カウンセラーの秋葉ふきこさんをお招きして、誰もがハラスメントを犯す危険があることを学びました。

3日目午前中の第7セッションでは聖書研究と分かち合いの一時が設けられ、Aグループは田光信幸司祭がマタイによる福音書18章1〜20節の箇所を発題し、Bグループは卓志雄司祭がルカによる福音書15章1〜10節の箇所を発題しました。どちらも「迷い出た羊」の箇所です。

新体制が始動して1カ月後には東日本大震災が発生し、時代の大きな変わり目の中で、東京教区の宣教の在り方も、祈りと行動が連動するものでありたいと思います。

司祭 大森明彦